

水防災タイムライン・カンファレンス全国大会 2019 in 貝塚 実施報告

1-1. 目的・趣意

我が国においてタイムライン防災が導入され、すでに6年が経過しました。この間、全国各地でタイムライン防災の試行・運用が進んでいます。そこで、全国での取り組みの情報共有を図るべく、平成28年度に三重県紀宝町において、平成29年度には球磨沿川の熊本県人吉市並びに球磨村において、タイムライン防災の普及・発展を目指して、水防災タイムライン・カンファレンスが開催されました。

本年度は、高潮並びに土砂災害に備えたコミュニティタイムラインを策定している大阪府貝塚市において、第3回のカンファレンスを開催しました。

本カンファレンスでは、全国各地での取り組み状況の共有を行うほか、実務担当者によるワークショップを通して、タイムラインの策定と運用に関する現況や課題を深く掘り下げることを目的としました。また、公開シンポジウムにおいては全国のタイムライン策定市町村の首長等によるパネルディスカッションを行い、関係機関の連携の必要性について発信しました。

1-2. 日時・場所

平成31年1月24日（木）

13:00～17:00

第1部 コミュニティタイムライン交流会（貝塚市市民福祉センター 4階 大会議室）

平成31年1月25日（金）

10:00～12:00

第2部 実務担当者ワークショップ（貝塚市市民福祉センター 4階 大会議室）

13:30～16:45

第3部 公開シンポジウム（貝塚市民文化会館 コスモシアター 中ホール）

1-3. 参加機関

共 催：大阪府、貝塚市、特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構

後 援：国土交通省

参加機関：国土交通省水管理・国土保全局河川環境課、北海道開発局網走開発建設部、小樽開発建設部、札幌開発建設部、室蘭開発建設部、函館開発建設部、今金河川事務所、庄内河川事務所、近畿地方整備局、紀南河川事務所、紀の川ダム総合管理事務所、豊岡河川国道事務所、琵琶湖河川事務所、福井河川国道事務所、大和川河川事務所、淀川河川事務所、和歌山河川国道事務所、九州地方整備局長崎河川国道事務所、八代河川国道事務所、大阪管区气象台、新潟県、岐阜県、三重県、滋賀県、奈良県、大分県、鹿児島県、北海道滝川市、岐阜県多治見市、愛知県名古屋市、三重県紀宝町、大阪府大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、吹田市、泉大津市、高槻市、守口市、八尾市、泉佐野市、松原市、大東市、和泉市、摂津市、高石市、泉南市、阪南市、島本町、豊能町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、河南町、兵庫県西宮市、奈良県葛城市、愛媛県上島町、高知県大豊町、福岡県大川市、長崎県諫早市、熊本県八代市、熊本県人吉市、熊本県球磨村、自治会・町内会、民間企業等（順不同）

参加者数：第1部 137人、第2部 108人、第3部 273人

1-4. 実施結果

平成 31 年 1 月 24 日（木）

第 1 部 コミュニティタイムライン交流会（13:00～17:00）

- ・取組事例の紹介（東京都足立区中川地区、三重県紀宝町大里地区、
大阪府貝塚市二色の浜旭住宅地区、高知県大豊町岩原地区）
- ・コミュニティタイムラインに関する意見交換会
- ・特別講演 「最近の災害とタイムラインへの期待」

国士館大学 教授 山崎 登

- ・話題提供①「「タイムライン防災」は、日本型コミュニティ防災ツールへ、
地域防災は変わる ～2013 年 2 月 24 日に会って あれから 6 年～」
東京大学大学院情報学環 客員教授 松尾一郎
- ・話題提供②「全国のタイムライン策定状況について」
特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構 主任研究員 作間 敦
- ・質疑応答、意見交換

◆全国でコミュニティタイムラインを策定・運用中の 4 地域による取組み事例の紹介を行った。また、地域ごとのブースに分かれて参加者が興味を持った地域を選択し、地区代表者との意見交換を行った。



地区代表者による事例紹介（足立区）



各ブースでの話し合いの様子



全体共有の様子

第 1 部の後半では、有識者による特別講演や話題提供とそれらの講話を踏まえた質疑応答を行った。



国士館大学・山崎教授による特別講演



講師陣による参加者からの
意見・質問事項の確認



質疑応答

平成 31 年 1 月 25 日（金）

第 2 部 実務担当者ワークショップ（10:00～12:00）

・事例紹介「タイムライン策定状況について」

①石狩川滝川地区水害タイムライン・後志利別川流域タイムライン

国土交通省 北海道開発局 今金河川事務所 秋山泰祐

②大阪湾沿岸高潮水害タイムラインの検討について

大阪府 都市整備部 港湾局 浪石朋治

③八代市太田郷校区コミュニティタイムライン

熊本県八代市 総務企画部 中武裕巖

・話し合い「平成 30 年の災害対応ふりかえり」

◆第 2 部では、はじめに、国・都道府県・自治体の各機関からタイムラインの策定状況に関する紹介が行われた。その後、平成 30 年の災害対応のふりかえりとして、災害対応の課題や解決策について参加者の知見やアイデアによって解決の糸口を見つけるワークショップを開催した。



タイムライン策定状況の事例紹介
（今金河川事務所）



タイムライン策定状況の事例紹介
（大阪府港湾局）



タイムライン策定状況の事例紹介
（熊本県八代市）



会場の様子



テーブルでの話し合いの様子



テーブルでの話し合いの様子

第3部 公開シンポジウム (13:30～16:45)

- ・開会挨拶 貝塚市長 藤原龍男
- ・基調講演 「タイムラインと2018年台風21号の高潮・高波問題」
関西大学 社会安全研究センター長・特別任命教授 河田恵昭
- ・話題提供①「タイムラインの最近の動向」
国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課長 光成政和
- ・話題提供②「気象台におけるタイムライン上の役割」
大阪管区気象台 気象防災部予報課 大規模氾濫対策気象官 能瀬和彦
- ・話題提供③「大阪府におけるタイムライン防災の取組み」
大阪府 都市整備部 河川室 参事 川上 卓
- ・話題提供④「貝塚市のタイムライン取組状況」
貝塚市 都市政策部 危機管理課長 岡本昌二
- ・パネルディスカッション「タイムライン防災の展開をふりかえり、今後を展望する」
パネリスト:北海道滝川市長 前田康吉、三重県紀宝町長 西田健(代理 新元明生特別参与)、
大阪府河南町長 武田勝玄、大阪府貝塚市長 藤原龍男、高知県大豊町長 岩崎憲郎、
熊本県球磨村長 柳詰正治、国土交通省水管理・国土保全局河川環境課長 光成政和、
大阪府都市整備部河川室長 武井義孝(寝屋川流域協議会大規模水害タイムライン策定部会長)
コーディネータ:東京大学大学院情報学環 客員教授 松尾一郎
- ・閉会挨拶 大阪府都市整備部長 井出仁雄

◆公開シンポジウムにおいては、関西大学社会安全研究センター 河田恵昭特別任命教授による基調講演をはじめ、4機関による話題提供とタイムライン策定・運用中の首長等によるパネルディスカッションが行われた。

◆パネルディスカッションでは、各地域や機関におけるタイムラインの取組状況の紹介とタイムライン防災の更なる発展に向けた今後の展望について討議がなされた。また、タイムラインの取組みを進める上で関係機関の連携の必要性について確認し、地域内での連携に加え、全国での連携協議会のような具体的組織の立ち上げについて提案がなされた。さらに、次年度のタイムライン・カンファレンス全国大会の実施について、北海道での開催を視野に調整することが提案された。



開会挨拶 (貝塚市長)



基調講演 (関大・河田教授)



情報提供 (国土交通省)



パネルディスカッション



パネリストの皆さん



閉会挨拶 (大阪府・井出都市整備部長)